

速報

2018年度保険戦略の運用実績報告

弊社のファンドユニバースからキャットボンド投資戦略と再保険投資戦略の2本の運用実績が確定^(注)しましたのでご報告いたします。

1. キャットボンド投資戦略：GAM FCM Cat Bond Inc. オープンクラス

	2018年度	2017年度	2016年度	2015年度	2014年度
円ベース	0.12%	-1.95%	3.19%	2.72%	3.31%
\$ベース	2.83%	0.03%	5.02%	3.47%	3.50%

2. 再保険戦略：Leadenhall Value FundクラスG

	2018年度	2017年度	2016年度	2015年度	2014年度
円ベース	-9.64%	-16.97%	7.68%	7.25%	10.73%

(注)2018年度は2月までの数値。3月の運用実績の公表は4月末日の予定

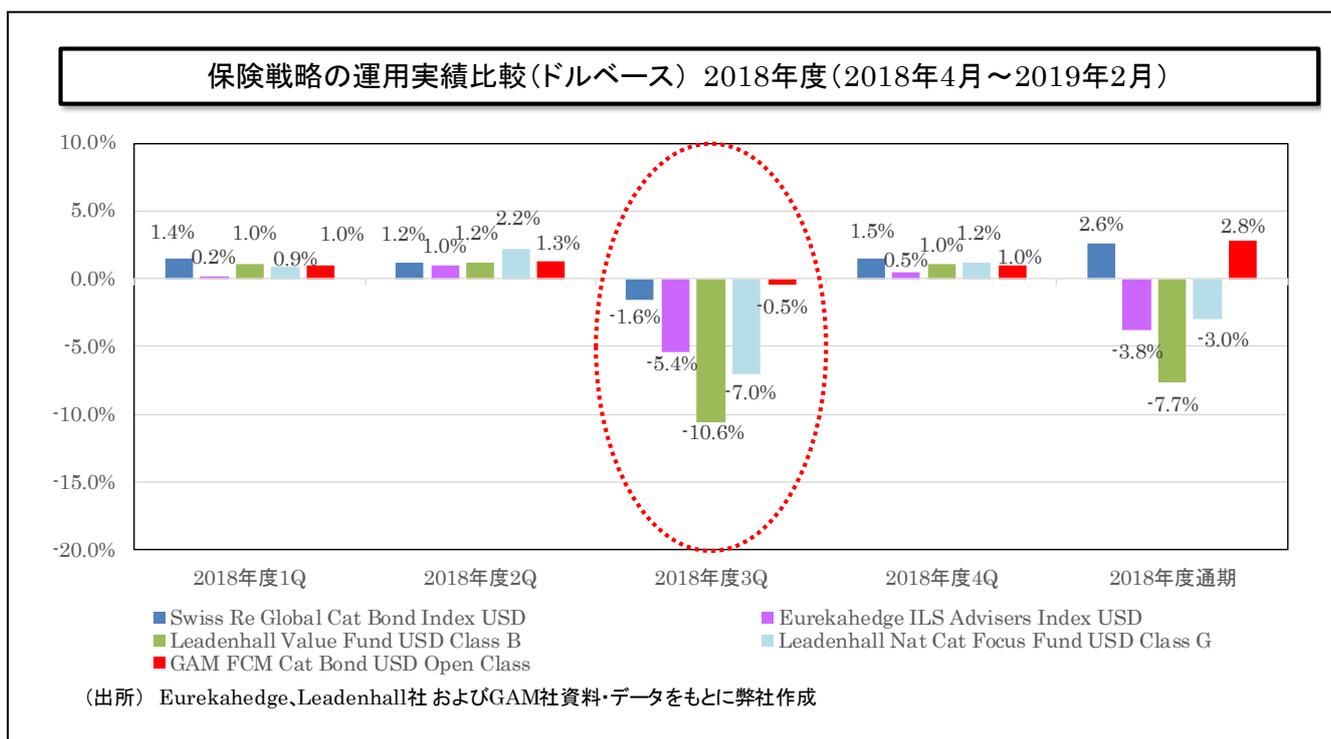
質問:2018年度の保険戦略において、キャットボンド投資戦略はプラス、一方、再保険戦略はマイナス・パフォーマンスになった要因と特徴について、解説してください。

最大の要因は、投資対象にあります。前号でも解説しましたように有価証券であるキャットボンドは、大規模災害が発生した場合、債券を売却しリスク回避行動をとることが可能ですが、再保険は相対契約の為、災害が発生したからと言って途中解約が極めて困難です。その為、再保険を組み入れたファンドマネジャーは、保険金支払いが確定するまで、再保険を持ち続けなければなりません。損失が確定することを待つ以外ありません。

災害発生後、保険金支払いの対象となる再保険や再々保険がポートフォリオに組み入れてあり、その比率が高い程、毀損率が高まります。更に一定期間に発生した複数の災害に対する保険損害額を累積する累積実損型の再保険が組み入れてある場合、毀損率は高まります。よって運用会社にどの程度組み込まれているか質問をしてみるのも一考かと思います。

保険戦略の中でも再保険戦略は、一旦災害が発生するとキャットボンド戦略に比べ、テールリスクが高く、最近になり、投資家やコンサルタントに認識されてきました。

ご参考：比較棒グラフ



キャットボンド戦略について、お気軽にお問合せください。

【留意事項】

当資料は、機関投資家への情報提供が目的ですが、弊社が運用を行う投資一任契約の勧誘を行う場合があります。弊社が情報提供する運用戦略には様々な経済指標や市場動向によって投資元本を毀損するリスクがあります。当資料は弊社が信頼できると判断した情報に基づき作成していますが、内容や解釈の正確性あるいは完全性についてはこれを保証するものではなく、また当資料中に示したコメント等は作成日現在の弊社の見解であり、事前の連絡なしに変更することがあります。資料中の運用実績はあくまで過去の実績であり、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。運用報酬は、運用戦略、成功報酬の採否、契約資産残高などにより変動しますので表示はできません。詳しくは、弊社担当者までお問い合わせください。また契約締結前交付書面に記載されております投資一任報酬体系でご確認頂くことが可能です。弊社は投資一任業務以外に金商法第35条第1項に規定する付随業務(セミナー等を通じたマーケティング)を登録しており、別途コンサルティング契約を締結し報酬を得ている会社があります。

【お問合せ先】

お問い合わせやご質問がある場合は、下記までお気軽にお尋ねくださいますようお願いいたします。

古川 千春 代表取締役社長 CEO、チーフ・マーケティング・オフィサー

電話：(03)6869-7770 Email: c.furukawa@bestmixinvestment.com

佐藤 紀昭 取締役 CIO 兼 第一運用部長

電話：(03)6869-7772 Email: n.sato@bestmixinvestment.com

〒105-0004 東京都港区新橋 4-9-1 新橋プラザビル 1008号

ベストミックス・インベストメント株式会社

金融商品取引業者(投資運用業・投資助言業) 関東財務局長(金商)第2612号

加入協会：一般社団法人 日本投資顧問業協会 会員番号 012-02564